



ニュース

第208号

発行日 令和2年4月17日
 発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20
 電話 0299 (69) 2222
 FAX 0299 (69) 2237
 ホームページ <http://nakadaiikushinen.jp/>

今月の生活目標

【単元】

- 明るい生活
- 楽しい生活



【目標】

- 施設やグループの決まりを守り、基本的な生活習慣を正しく身に付けましょう。
- みんな仲良く協力して施設内の装飾をし、楽しい生活を送りましょう。

「新型コロナウイルス」の感染予防に、ご協力を！

園長 千葉桂資

令和2年3月8日現在、国内の新型コロナウイルスの感染はじわじわと拡大する一方です。幸い、今年は暖冬ということもあり、今のところ風邪の症状のある利用者さんは一人も出ていません。しかしながら、世界的に新型コロナウイルス感染者が急増し、重症化・死亡するケースが確認されていることから、十分な感染予防対策が必要です。

当園では、2月27日から2週間の期間において、利用者さんと保護者の皆さまには、行事、外出、面会等の自粛をお願いして参りました。報道では終息の見込みがない状況ですので、当分の間（3月末日までを予定）は、自粛期間を延長し様子を見ていきたいと思えます。利用者の皆様には、朝礼にて新型コロナウイルスの情報を提供し、なぜ外出・帰省等を控えなければならないのかを繰り返し説明させていただいていきます。職員は、出勤時の手指消毒と検温・記録、マスク着用を義務付けています。

関係者の皆さまには、以下の点にも留意され、ご理解の上ご協力ください。

(1) 週末帰省について

極力自粛するようお願いいたします。通院等でやむを得ない場合には、行動範囲を限定し、なるべく人込みを避け、マスク着用にて行動してください。帰宅時は、アルコール消毒液が無い場合は、石鹸での手洗いを必ず行ってください。ご家庭での検温もお願いたします。

園に戻られましたら、玄関で手指消毒後、検温を行ってください。37.5℃以上の熱が認められた場合は、ご家族対応にて保健所への相談・受診等をしてください。診断結果がでるまでは、自宅療養を願います。

(2) 外出について

全国的に終息に向かう目途がたつまでは、お花見会場など、不特定多数の人が集う場所での飲食は自粛してください。買物は店を限定し、マスク着用にて短時間で済ませるようしてください。

(3) 通所利用者さんのご家族へのお願い

ご家庭での朝の検温のチェックを必ずしてください。忘れた場合には、送迎車に乗る前に検温を実施します。発熱が認められた場合には、利用をお断りいたします。行き帰りの際のマスク着用は必ずしてください。帰宅しましたら、手洗いうがいをお願いします。

(4) 家族面会、慰問・ボランティア等について

家族面会は、3月末日までは自粛してください。状況により、自粛期間を延長する場合があります。慰問やボランティアの方も同様です。業者の方については、玄関等の特定の場所において、マスク着用・手指消毒・検温をしていただきます。異常がない場合には、速やかに納品等を済ませてください。



祝！入賞!! (おおのかるた大会)

37.5℃以上の発熱や呼吸器に症状が認められる場合には、所轄保健所の「帰国者・接触者相談センター」に相談の上、受診する流れが基本となっています。当園には、85歳の最高齢者を筆頭に、60歳以上の利用者が11名おります。茨城県での感染者は現時点では報道されていませんが、油断は禁物です。新型コロナウイルスの特効薬が早く開発されることを



鬼は外！悪いものが入ってきませんように…（節分）

祈るばかりです。
当園が備蓄するマスクは、1日100枚使用したとして、6月中旬までもつ計算です。アルコール消毒液は、無駄遣いをしなければ5月上旬まではもつでしょうか。ただし、来訪者が多いと消費が増えます。早く購入できることを切に願っています。
新年度を迎えるにあたって、ご不便をおかけすることとは思いますが、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
（※4月6日現在、茨城県での発症確認数は65人。外出等自粛対応は4月26日まで延期させていただいています。）

支援の現場より

生活支援員 千葉知香

平成から令和へと時代は移り、夏は猛暑に台風、冬は新型肺炎と、去年度は山あり谷ありでした。こうして一年間を振り返ると、福祉施設というのは一見閉鎖的に見えるようになって、実際は時事に直結し、地域の状況に密接に関わっており、全く変わらずに毎年同じ生活の繰り返しをしていくことはないのだと、つくづく感じます。

当園の中だけでも新入所された方、退所された方がいたり、身体的な理由から支援方法の見直しが必要になった方もいたり、楽しいことも乗り越えていくことも含めて数々の出来事がありました。

生活支援において何等かの変化や課題が発生したとき、いつも頼もしくあるのが、一緒に働く職員存在です。この一年、各支援員の柔軟な発想による支援と、利用者さんたちとのかわりにおける許容力を度々目にしてきました。私自身が不安なときや焦っているとき、ミスをしてしまったときも、周囲の支援員の協力的な姿勢を感じることで冷静になることができ、自分の行動を省みることができたことも何度もありました。

また、事務員の皆さん、栄養士さんを始めとする調理員の皆さん、看護師さんといった各部署の理解と連携は支援にはかせないものであります。各部署が連携し包括的に利用者さんたちの生活を支えることの基盤には、人の生活を預かることへの責任があります。私たちのすべての判断や行動には責任が伴いますが、時に瞬時の判断を求められることもあり、悩みながらも最適解を求め続けた去年度は、私にとっても学ぶこ

との多い一年でした。
さて、今年度はどんな年になるでしょうか。
現在、どの業界においても人材不足が叫ばれています。当施設も例外ではなく、様々な試行錯誤しながら支援にあたっています。去年一年間の経験や学びを今一度振り返り、今後は手探りながら実行に移すこと、利用者さんたちの実りある生活につながるよう努めたいと思います。

厨房だより

栄養士 茂木豊子



調理員さんたちは、年度末の三月になると一年のまとめとして、調理作業工程や備品管理、調理器具のメンテナンス等、業務内容の見直しと改善について話し合いをし、報告してくれます。

その報告の中でここ数年よく聞かれるのは、利用者さんの高齢化に伴う機能低下や疾病により、食事形態が多様化しているということです。そのニーズに応えるため、現状の設備で工夫をし、作業動線の効率を考え、変化に対応しています。おいしさはもちろん、安心、安全な給食が提供できるのは、咀嚼や嚥下の状態、体調の変化、利用者さん個人個人の嗜好までをしっかりと把握し、利用者さんを思う調理員さんたちのやさしさと努力のおかげだと思います。

元気の源になるようなおいしい給食を、これからも提供できるよう、人生経験豊富な平均年齢54歳の給食スタッフ7名、知恵を出し合い、明るく元気にがんばっていきます！

グループだより

★ひまわりグループ

『応援団長』

横山さんは、休日になると小ホールのテレビ前に座り、かぶりつくように夢中でテレビを見ています。
 とある休日、横山さんはいつものようにテレビを見ていましたが、どこか落ち着かない様子……。どうしたのかな？と見守っていると、突然、「やったー!!!」と、両手を高々と上げて歓声をあげるのです。どうやら、応援していたサッカーチームが勝ったようです。よほどうれしかったのか、大声に驚いて小ホールの様子を見に来た私の姿を見ると、満面の笑みで駆け寄ってきました。「やった！勝った！優勝した!!イエーイ!」。両手を広げてこちらに向けています。あまりの勢いに、びっくりしましたが、横山さんの喜び様に、私まで嬉しくなってしまうました。「イエーイ!」と、二人でハイタッチ。サッカーチームだけではなく、周囲の人まで楽しくなってしまう、横山応援団長です。今度は是非一緒に観戦しましょう!
 〈林〉



★すみれグループ

『早く起きた朝は...』

今年は、暖冬の影響もあってか、日中冷え込む日が少なく、暖かい日が続きました。しかし、それでも朝晩の冷え込みは厳しく、夜勤の夜は手足がかじかんでしまいます。そんなある夜明けの朝、起床時間前にストروبを点けにいくと……。暗い食堂の中に人影が！思わず「ヒエッ」と、声をあげてしまいました。……。落ち着いてよく見ると、村田さんではありませぬか。誰よりも先に起きて、体温計を皆が使いやすいように並べておいてくれたり、テーブルの上を片付けてくれたり、朝早くから仲間の為にあれ



みんなそろつれはいポーズ

これと動いてくれています。
 今年で88歳を迎える村田さんですが、まだまだ元気いっぱいです。元気の秘訣は？と聞くと、ズバリ「動くこと」だそうです。まさにその通りですね!
 〈海老澤〉

★あざみグループ

『ぼくの仕事』

坂本さんは、クッキー班での活動に参加しています。活動自体は月2回程度ですが、クッキー班が稼働し始めて2年が経ちます。

クッキー班の皆さんがつくったお菓子が、三時のおやつに出てくると、「これ、僕たちが作ったんだよ!」と、誇らしげです。坂本さんは、生地を丸める工程を担当していて、「こうやって作るんだよ」と、ジェスチャーで教えてくれるのです。

先日、グループ活動の中で来年度の目標を「クッキーの生地作りがんばります」と、堂々と発表していま

新年会



中台のアイドル ナニエちゃんです

した。
 坂本さんたちの作る、かわいくておいしいクッキーを、みんな楽しみにしています。これからがんばってくださいね。
 〈長岡〉

★なでしこグループ

『敏腕警備員さん』

夕方は、久保田さんのお仕事の時間です。グループ各居室の窓が閉まっているか確認して、閉まっていなと教えにきてくれるのです。

鍵を閉めにグループに行くときは、一緒に行って、窓の外に怪しい人がいないか、周囲をしっかりとチェック！指差確認で、「大丈夫！誰もいません!」と、報告もばっちりです。最後に昇降口の施錠を確認して、今日のお仕事も無事終了です。

ありがたい、敏腕警備員・久保田さん。なでしこグループの夜間の平和と安全は、今日も久保田さんによって守られています。
 〈豊田〉



黄色い声援がとびました

利用者年齢調査

平均年齢（通所含む）

男性（31名） 47歳 [1.7↓]
女性（28名） 54.9歳 [0.4↑]
合計（59名） 50.8歳 [0.8↓]

※ [] 内、前年度比

年齢分布

年代	男性	女性	全体
80代	1名	1名	3.4%
70代	3名	5名	13.6%
60代	2名	4名	10.2%
50代	8名	7名	25.4%
40代	7名	6名	22.0%
30代	5名	3名	13.6%
20代	3名	2名	8.4%
10代	2名	0名	3.4%

（令和2年3月31日現在）

令和2年度 入所・グループホーム担当職員

のぞみホーム	ひまわり	千代田 林 佐藤 安齋		海老澤	看護師
	すみれ	入江 榊原（怜） 内田（芳） 小沼（す）			内田
あゆみホーム	あざみ	井関	宮崎 豊田 長岡 西山 取次	高野	看護師
	なでしこ	千葉（知）			小沼（純）
グループホーム	千葉	中根 横堀 小沼（和） 小田切 小林	木之内（真）	高野	
	梵天	中山 木之内（浩） 榊原（由） 佐藤（友）			

跡 跡 跡

【1月・2月・3月】

【寄付】

▽飯島昭子様

▽石田博様

▽池田洋様

▽橋爪八重子様

▽小野口里子様

▽柳堀實様

▽島村輝久江様

▽（株）ヤマイチ 熊谷様

【来園者】

▽アンサンブルウイズ様（演奏ボラ
ンティア）▽羽生明義様（絵画指導）

▽横田裕樹様（会計監査）▽永光
パートナーズ 渡辺様（会計指導）▽

マウント 阿部様（システム調整）▽
日立総合防災様（消防設備修理）▽

稲敷市役所 橋本様（認定調査）▽鹿
嶋市役所 秋葉様（認定調査）▽伊藤

富久様（契約）▽永長喜美江様（契
約）▽辻和夫様（契約）▽鹿嶋市福

祉センター 井関様・八木様、梶田浩
史様・公子様（施設見学、体験）▽

県福祉人材センター 會澤様（施設
見学）▽茨城キリスト教大学 椎木

様（施設見学）▽銚田第一高等学校
田山様（実習打ち合わせ）▽ウエル

ポート 小原様（相談支援聞き取り）

【退職職員】

▽豊田惇平支援員（3月31日付）

▽横田裕梨亜支援員（同）

▽多辺田昌代世話人（同）

【1月・2月・3月誕生者】

▽倉嶋素明さん（1月11日）

▽村田まさ子さん（1月15日）

▽池田勝弘さん（1月20日）

▽福栄都さん（1月21日）

▽永長未帆さん（1月29日）

▽鈴木理紗さん（2月8日）

▽辻みどりさん（3月4日）

▽玉川敦子さん（3月5日）

▽緒形英伸さん（3月6日）

▽大足光子さん（3月7日）

▽小野口由美さん（3月15日）

▽渡辺正さん（3月17日）

▽小沼一美さん（3月17日）

▽栗原久子さん（3月18日）

▽柴田優子さん（3月26日）

▽坂本繁広さん（3月30日）

編集後記

先日、防犯訓練を実施しました。

今回、『不審者役』に大抜擢された

私。やるからには全力でいきます！厚

手のジャンパーに帽子、眼鏡、マスク

の完全重装備を用意して、自宅で衣装

チェック！その姿でリビングに行く

と、猫たちが一目散に逃げていきまし

た。その反応に、確かな手ごたえを感

じたのです。ふふふ。

そして本番。見事、利用者の皆さん

は不審者と思ってくれたようで、防犯

訓練として大成功でした。

無事に大役を全うし、帰宅したので

すが、玄関の鍵が開いているじや

ありませんか！単に閉め忘れただ

けだったのですが、防犯訓練に気が取

られすぎて、自宅の防犯に回す意識が

完全に欠落していたというオチがつ

いた一日でした。（チヨダ）

